

すわみつえ通信

No.91 2019年9月23日(月)

日本共产党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえ
の政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

「食事は自宅にいても摂るものどうでもいい。保育園にいてもその費用は保護者が負担するのは当然」「今まで保育料に含まれていて、今回の保育料無償化で給食費だけ負担になるわけだから保護者については軽減だ」という考え方のもと、市は独自補助は行わないと答弁でした。

保護者負担となる」とから、由に補助を行うよう求めました。

歳～2歳児に関しては住民税非課税の世帯が対象です。すべての子どもの無償化と保育の質を高めることが求められる中、今回の無償化で給食費が

年を取ると耳が聞こえたりになら
ますが、白鳥では毎月1回5回の
指摘されて初めて気がつきます。
市が行う基本健診・特定健診に聴力
検査を位置づけ早期に発見し、補聴器
を使うことで生活の質を高めることが
が認知症予防にならうとされています。

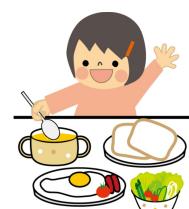
3. 認知症予防に有効な 補聴器購入の補助を

保育にかかる公定価格の事務では事務が賄いきれない実情があります。新たに給食費徴収のための事務が増えることは現場からの声です。市が独自に事務員雇用のために補助することを求めました。答弁は給食費滞納者が出したところの「支援方法」だけに留まりました。

「(J)も未来行政」と「健康福祉行政」への質問を行いました。要望をお寄せいただいた皆さんへ、調査に「J」協力いただいた皆さんへ、傍聴に足をお運びくださいありがとうございました皆さんに心より感謝申しあげます。

質問内容と結果を「J」報告するとともに、要実現のための続々力を尽しあります。

2. 私立保育園での事務量 増加に対する対策を



「（）も未来行政」と「健康福祉行政への質問を行いました。要望をお

「給食は食育で保育の一環」「この間、100を超える自治体で自由に給食費補助を決めている。子育て日本一を提唱する鴻巣市でも補助するべく」と再考を求めるもしたが応じる答弁はありませんでした。

4. 寺養ホリムの新設はあるか

8月の口締め切りで募集しました。鴻巣市での募集に応募があつたか質問しました。「既存施設の増床や新設の問い合わせはあつたが応募したかどうかは不明。来年の県の認可決定を待つ」として答弁です。

埼玉県医療審議会からの月12日には開かれ、第7回次の計画に応募していた、行田総合病院の（仮称）鴻巣病院の開設は認められなかつたことが明らかになりました。今後は令和2年度に予定されている計画見直しで新たなものが示されるかどうかひとつひとづです。

喫緊の課題である病院誘致が進まないのであれば、産科・小児科の診療所などをどの誘致を求めました。

補聴器は高額ですので、公費の補助を求めました。残念ながら國や他自治体の動向を見守ることの答弁です。

4. 特養ホームの新設はあるか



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

今週の巻頭トピック

「グリホサート」請願が各地で相次ぐ 危険な除草剤の使用制限を

発がん性やアレルギー、自閉症や認知症を誘発する危険性が指摘される化学薬品「グリホサート」を主成分とする除草剤。その使用禁止や制限を求める陳情や請願が全国の自治体で相次いでいる。

「コウノトリ」をシンボルとする埼玉県鴻巣市（原口和久市長、人口約11万8500人）でも、ゲリホサートを成分とする除草剤の使用・販売の制限を求める請願が提出され、9月11日の市議会市民環境委員会で審査されたが、賛成少数で「不採択」となった。

請願では、人体への健康リスクや自然環境への負荷を減らすため「未来に対する我々の責務」であると強調。しかし、主な反対理由は「営業妨害になるのでは」「道路課などでは注意事項に留意し適正に使っている」「小中学校では使用していない」などだった。

請願を提出した市民グループ「鴻巣環境フォーラム」の藤井雄吾代表は「（グリホサートは）将来的に2世代、3世代後に影響を与える可能性がある。予防原則を理解してもらえたかった」とし、今後もその問題性を知つてもらう活動を進めるという。

こうした請願・陳情・要望は昨



フランスで販売禁止となった除草剤は日本各地の店頭に並ぶ。(撮影/片岡伸行)

年末から今年にかけて群馬県太田市、京都府宇治市、長野県塩尻市、埼玉県北足立郡伊奈町、静岡県浜松市などで相次いだ。販売を中止した100円ショップもある。

WHO（世界保健機構）の外部機関「国際がん研究機関」が2015年3月にグリホサートの発がん性を指摘して以来、世界では多くの国が規制に動き、フランスでは今年1月、除草剤「ラウンドアップ」と関連商品の販売を禁止した。一方、「農薬大国」といわれる日本では、16年7月に内閣府の食品安全委員会がグリホサートの発がん性および遺伝毒性は認められないとの判断を示し、17年12月には厚生労働省がグリホサートの食品安全基準を大幅に緩和するなど世界の流れに逆行している。

片岡伸行・記者



埼玉革新懇 革新懇交流集会

埼玉革新懇（平和・民主・革新）の日本をめざす埼玉の会）は、9月21日（土）に浦和駅近くの埼玉会館会議室で革新懇交流集会を開催し、50名が参加しました。交流集会での講演は「激動の情勢をどうみるか」と題して、しんぶん赤旗政治部記者の中祖寅一さんを講師に招き、「野党連合政権への展望」と今夏の参院選での勝利は4年間の市民と野党の共闘が全国で草の根として、定着した結果との分析がありました。

中祖記者は、たびたび「しんぶん赤旗」日刊紙1、2面に署名入りの記事を書くベテラン政治記者です。自民党やあらゆる政黨の幹部、政府関係者との懇談、意見交換、極秘情報も入手しながら、情勢を的確に把握し、日本共産党の志位和夫委員長などへ報告しています。選挙では全国の現場で状況を整理し、良し悪しに關係なく、素直に報告しています。

交流会では、埼玉県内の革新懇の皆さんから改憲反対・安保法制廃止・原発ゼロ・地域住民の要求の実現を進める運動の報告があり、経験が交流されました。

野党連合政権へ協議開始を 共産党が各党に呼びかけ



立憲民主党の福山幹事長（右）に申し入れる（左から）小池書記局長、穀田国対委員長=8月26日、国会内



「れいわ」と共産党が党首会談

本気で政権交代へ——野党連合政権づくりへの日本共産党の呼びかけに「れいわ新選組」の山本太郎代表が応え、志位和夫委員長との党首会談がおこなわれました。

山本代表と志位委員長は、①野党連合政権をつくるために協力する。②安倍9条改憲に反対する。③消費税10%に反対し、廃止を目標として、その道すじ、財源を協議し、野党共闘の発展に努力する——など3点で一致。野党連合政権にむけた第一步をふみだしました。